

SIGMALINE™ 855 (11)

説明

2液性、無溶剤、ポリウレタン塗料

特長

- 内面及び外面パイプ、地下貯蔵タンクを保護するための無溶剤コーティング
- 防食性に優れている
- 超高速硬化
- 耐摩耗性、耐衝撃性に優れている。
- 優れた接着力
- 優れた耐水性
- EN10290、AWWA C222-18 による外部保護の承認済

色相及び光沢

- グレー、ブルー、オフホワイト
- グロス (ツヤ有り)

基本データ 20°C (68°F)

混合物のデータ	
構成	2液性
密度	1.3 kg/l (10.8 lb/US gal)
固形分 (容量)	100%
VOC (供給時)	最大 1.0 g/kg (Directive 1999/13/EC, SED) 最大 1.0 g/l (約 0.0 lb/gal)
推奨膜厚	500 - 1500 µm (20.0 - 60.0 mils) 要件による
理論塗布量	0.7 m ² /l - 1500 µm (27 ft ² /US gal - 60.0 mils)
指触乾燥	2 分
完全硬化	12 時間
貯蔵安定期間	基剤: 9 ヶ月 (乾燥した冷暗所にて保管した場合) 硬化剤: 9 ヶ月 (乾燥した冷暗所にて保管した場合)

注意点:

- 追加データ参照 - 塗布量及び膜厚
- 追加データ参照 - 硬化時間

SIGMALINE™ 855 (11)

推奨素地調整 及び 被塗面温度

被塗面状態

- 鋼板; ISO-Sa2.5にブラスト洗浄し、ブラストプロファイル75 - 100 µm (3.0 - 4.0 mils)

被塗面温度及び塗装条件

- 塗装中及び硬化中の被塗面温度は10°C (50°F) より高いこと。
- 塗装中及び硬化中の被塗面温度は少なくとも露点より3°C (5°F) 以上高いこと。
- 塗装中の相対湿度は75%を超えてはならず、良好な換気が必要です

使用上の注意

混合比 (容量): 基剤 : 硬化剤 = 1:1

- ツインフィードホットエアレススプレー装置を利用すること
- シンナーは添加不要

塗装

- 良好な中間コート接着には、修復または再コーティングすべき表面をブラストまたは研磨によって粗くすることが必要である
- 小規模ダメージを手動で再塗装する場合は"SIGMALINE 855 REPAIR"が適している。製品データシート (7655RP)
- 大気暴露の場合、SigmaDurシリーズのトップコートを推奨。

熟成時間

0分

可使時間

10秒 (60°C (140°F))

注意点:

- 追加データ参照 - 可使時間

SIGMALINE™ 855 (11)

エアレススプレー塗装

- ツインフィード、ホットエアレススプレー
- ポンプ粘度は40°C (104°F) から 60°C (140°F) であること
- 混合した場合の温度は、65°C (149°F) から 75°C (167°F) の間でなければならない。

希釈シンナー

シンナー添加不要

チップサイズ

約 0.58 - 0.79 mm (0.023 - 0.031 in)

2次圧

15.0 MPa (約 150 bar; 2176 p.s.i.)

注意点:

- チップ温度は 60°C (140°F) でなければなりません。

洗浄用シンナー

- THINNER 90-53

洗浄手順

- 混合物は60°C (140°F)で混合した後、数分以内に不溶解となる。
- 混合ベースと硬化剤を含む一部のスプレー装置は、作業の完了直後または中断した直後に素早く片付けること

追加データ

塗布量及び膜厚	
DFT	理論塗布量
500 µm (20.0 mils)	2.0 m ² /l (80 ft ² /US gal)
1000 µm (40.0 mils)	1.0 m ² /l (40 ft ² /US gal)
1500 µm (60.0 mils)	0.7 m ² /l (27 ft ² /US gal)

SIGMALINE™ 855 (11)

DFT 1500 µm (60.0 mils) までの硬化時間			
被塗面温度	指触乾燥	ハンドリング可能	完全硬化
10°C (50°F)	2 - 4 分	8 - 10 分	24 時間
20°C (68°F)	1.5 - 3 分	4 - 7 分	12 時間
40°C (104°F)	50 - 90 seconds	3 - 5 分	8 時間
60°C (140°F)	30 - 60 seconds	1 - 2 分	4 時間

注意点:

- 塗装中及び硬化中は適切な換気を維持すること

可使時間 (塗装可能粘度)	
混合塗料温度	可使時間
10°C (50°F)	1 分
30°C (86°F)	20 - 30 seconds
60°C (140°F)	5 - 10 seconds

安全予防策

- 安全性と予防措置の要件については、安全データシートと製品ラベルを参照してください。
- ポリイソシアネート硬化剤が含まれています。
- 本製品は無溶剤型塗料であるが、スプレーミストの吸引、塗料の皮膚、眼への接触には充分注意すること

ワールドワイド対応

PPG Protective & Marine Coatings (PPG プロテクティブ&マリン コーティングス) は、常に世界中どこでも同じ製品を供給することを目標としています。しかしながら、地域や国内の法規/状況を順守するにあたって、製品の微調整が必要となる場合があります。その場合は、代替の製品データシートが使用されます。

参照

- Information sheet | Explanation of product data sheets

保証

PPGは、(i) 製品の所有権、(ii) 製品の品質が、製造時点において PPGが定める製品仕様準拠していること、ならびに (iii) 製品は第三者のいずれの米国特許権も侵害していないことを保証します。これは PPGによる唯一の保証であり、商品性、特定用途および目的への適合性、非侵害性、権原、または制定法あるいはそれ以外の法律、もしくは取引の過程、履行の過程、慣習法、または取引慣行により生じる保証をはじめとして、明示または黙示を問わず、あらゆる種類の保証も行わず、または明示的に責任を排除します。本保証に基づきいかなる請求も、購買者が当該欠陥や不具合を発見してから5日以内に PPGに対して書面にて行うものとし、また製品に適用される保管期間、あるいは購買者または購買者が指定する配達先に商品が届けられた日から起算して1年のいずれか早い方が過ぎていないことを前提とします。購買者が本規定に適合しないことを PPGに通知しなかった場合、購買者は本保証に基づく担保責任の追及をすることはできません。

SIGMALINE™ 855 (11)

賠償責任の制限

PPGは、いかなる場合も、製品の使用に関連または起因する、あるいは結果としての間接的、特別的、付随的、派生的な（過失、厳格責任、不法行為のいずれを原則とするかに関係なく）損害回復の理論に基づく一切の責任を負わないものとします。本書の情報はガイダンスのみを目的に作られたものであり、PPGが信頼に値すると考える臨床実験を基にしたものです。PPGは、実地経験および継続的な製品開発の結果として、いつでも本書記載の情報を修正することができます。PPG製品の使用に関連する推奨や示唆は、それらが技術文書内で用いられているかどうか、あるいは特定の問い合わせに対する回答に関わらず、PPGが知り得る限りにおいて信頼できるデータに基づくものとします。製品および関連する情報は、当該産業における必須知識および技能を有するユーザーを対象としており、製品が個々の特定利用に適しているかどうかの判断は、ユーザーの単独責任であり、購買者は独自の裁量権とリスク引受において行うものと見なされます。PPGは、基質の品質または状態、あるいは製品の使用や用途に影響を及ぼしうる数多くの要素については管轄外であり、(契約書に明記されている場合を除き)本情報の使用や内容に起因する損失、被害、損害の責任を一切負わないものとします。適用する環境の変化、使用手順の変更、データの補充に伴い、不十分な結果がもたらされる場合がありますが、本書は先行するあらゆるバージョンに優先し、製品の使用に先立って、本情報が現行のものであるかの確認は購買者の責任とします。すべての PPG Protective & Marine Coatings Products (PPGプロテクティブ&マリンコーティングス製品)の最新データシートは、www.ppgpmc.comにて閲覧可能です。また本書の英語版は他の翻訳版に優先するものとします。

